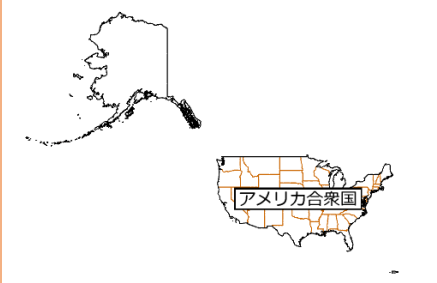


001.アメリカ合衆国
ーアメリカ合衆国
(United States of America)ー Vol.002

1. 外務省海外安全情報

2024年5月10日時点、
日本国外務省の海外安全
ホームページによる
「危険情報」は
発出されていません。



＜大麻の危険性＞
医療用または嗜好用の大麻の
使用等を合法化する州は近年
増加傾向にあり、嗜好用大麻については、現在、22の州およびワシ
ントンD.C.において成人による使用等が認められています（使用量
の制限や使用後の運転禁止等の規制があります）。ただし、日本の
大麻取締法は、大麻をみだりに栽培、所持、譲受、譲渡した場合など
に罰する規定があり、これらの行為は日本国外で行われても罪に
問われる場合があります。そのため、嗜好用大麻の使用等が合法化
されている州においても、大麻には決して手を出さないようにして
ください。

＜交通事故＞
車両走行は、日本と反対の右側通行です。路上でタクシーや観光
バス等から乗り降りする際や歩く際は、日本と違う旨で十分注意
してください。

引用：
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_221.html#ad-image-0

参考：
人口10万人当たりの交通事故死亡数の割合を日本と米国で比較す
ると以下の結果となっています。人口比において約3倍となります。

	日本	米国	参考年
死亡者数	4,682	35,092	2018
10万人あたり	4.1	12.4	2018

引用：交通安全に関するWHO世界状況報告書
(対象：車・バイク・自転車・歩行者)

2. 総合的脅威度（当社研究所作成）
当研究所独自の基準で日本と比較し5段階評価。
2024年5月10日時点

総合	-1	0	+1	+2	+3
テロ脅威度	-1	0	+1	+2	+3
誘拐発生率	-1	0	+1	+2	+3
一般犯罪	-1	0	+1	+2	+3
政情不安	-1	0	+1	+2	+3

-1=比較的安全 0=日本と同等 +1=比較的危险 +2=危険 +3=きわめて危険

＜総合＞
全土で軽犯罪（すり、ひったくり）は発生し、銃器を用いた暴力
犯罪（強盗、殺人）もほぼ毎日起きています。特に多くの死傷者
をもたらす銃乱射事件が近年増加傾向になっています。また州ごとの
規制はありますが、一般にヘロイン、LSD、大麻等といった違法薬
物麻は厳しい罰則の対象です。

＜テロ脅威度＞
米国当局は「イラク・レバントのイスラム国」（ISIL）「アル・
カーイダ」（AQ）といったイスラム系過激派組織による自爆などの
攻撃、及び、その思想に感化された「ホーム・グロウン型」テロ、
単独犯によるローンウルフ型により日々国際テロの脅威を警戒して
います。常に周囲に注意を払い、地元メディアの最新情報を入手し、
地元当局のアドバイスに従ってください。

＜一般犯罪＞
人口10万人当たりの主要犯罪の割合を日本と米国で比較すると以
下の結果となっています。

	日本	米国	参考年
殺人	0.23	6.81	2021
暴力犯罪	14.56	280.05	2021
誘拐	0.31	16.81	2021

引用：
UNODC(United Nations Office on Drugs and Crime)

3. 各国政府等からの海外安全情報
(英国政府等)
2024年5月10日時点

＜総評概訳＞
「テロリストが米国で攻撃を試みる可能性は非常に高い。」
外国人が訪れる場所も含め、無差別攻撃が行われる可能性がある。常に周
囲に注意を払い、地元メディアの最新情報を入手し、地元当局のアドバイ
スに従う必要があります。ターゲットには次のものが含まれる可能性があ
ります。・混雑したエリア ・交通ネットワーク ・公開イベント

引用：
<https://www.gov.uk/foreign-travel-advice/usa/safety-and-security>
＜テロ脅威度＞
「経済平和研究所による世界テロリズム指数 2023」では、米国は
世界163カ国中30位にランクされており、同国はテロの影響が非常
に高いと評価。

引用：
2023Global Terrorism Index
<https://www.visionofhumanity.org/wp-content/uploads/2023/03/GTI-2023-web-170423.pdf>

4. 当社研究所現地特派員レポート
2024年5月10日時点

Q1：現地到着時、特有（日本と違う）の注意事項があれば教えてく
ださい。
A1：米国の入国に際し、持込みの禁止や数量が制限されているもの
や、持込みの際に診断書の提出や事前の許可申請を求められるもの
があります。出国前のご確認をお勧めします。

Q2：現地特有（日本と違う）の犯罪や事故に巻き込まれないように
するにはどうしたらよいでしょうか。
A2：米国においては、民事および刑事ともに法令・規則は州ごとに
定められ、一律ではありません。
滞在する州からの情報にはご注意ください。

参考：
①現地ニューヨークからお届け！【海外危機管理・安全情報】
(2022年3月01日)
https://www.youtube.com/watch?v=2Be_1CkMITg
②現地ロサンゼルスからお届け！【海外危機管理・安全情報】
(2022年3月01日)
<https://www.youtube.com/watch?v=6s1N90ncxa4>
③現地アラスカからお届け！【海外危機管理・安全情報】
(2024年4月14日) (新規)
<https://www.youtube.com/watch?v=oag3cWzJ8eQ>
Copyright © TASKAL RESEARCH CENTER All rights reserved.